

平成20年度事業報告書

1. 会 員

年度始め及び年度末の会員数並びに年度中の入・退会は次の通りである。

(社)

区 分	年度始現在	入 会	退 会	年度末現在
普通会員	50	1	0	51
賛助会員	23	5	0	28
合 計	73	6	0	79

入会（普通会員） (株) 大阪造船ドック
 (賛助会員) (株) 豊橋造船、(株) 日本海洋科学、(株) 大晃産業、
 大島エンジニアリング(株)、中国塗料(株)

2. 役 員

定数及び年度末の役員数は次の通りである。

(人)

	理 事					監 事	合 計
	総 数	会 長	副会長	専務理事	常務理事		
定 数	55	1	6	1	3	3	58
現 員	52	1	6	1	2	3	55

平成20年5月16日開催の第49回通常総会において、任期満了に伴う役員の改選を行い、下記のとおり就任した。

会 長	石渡 博	墨田川造船(株) 代表取締役社長			
副会長	寺西 勇	(株) 三和ドック	〃		
	〃 檜垣 巧	岩城造船(株)	〃		
	〃 神田 健二	(株) 神田造船所	〃		
	〃 檜垣 清隆	檜垣造船(株)	〃		
	〃 田中 敬二	福岡造船(株)	〃		(新任)

	三浦 政信	(社)九州小型船舶工業会	会長	
専務理事	萩原 廣治	学識経験者		
常務理事	松尾 龍介	〃		
理 事	諸岡 正	檜崎造船(株)	代表取締役社長	
	〃 河原 勝治	根室造船(株)	〃	
	〃 東 徹	北日本造船(株)	〃	
	〃 前田英比古	(株)ヤマニシ	〃	
	〃 野島豊一郎	東北ドック鉄工(株)	〃	
	〃 田中 哲雄	新潟造船(株)	〃	
	〃 加藤新太郎	石川島造船化工機(株)	〃	
	〃 吉田 春樹	(株)花崎造船所	〃	
	〃 片上 久志	(株)カナサシ重工	〃	
	〃 内田陽一郎	鳥羽ドック(株)	〃	
	〃 生駒 友彦	金川造船(株)	代表取締役会長	
	〃 玉井 裕	神戸船渠工業(株)	代表取締役社長	
	〃 山上 和政	(株)アイ・エィ・アイ・アムテック	〃	
	〃 杉原 毅	向島ドック(株)	〃	
	〃 佐々木大平	佐々木造船(株)	〃	
	〃 寺本 利徳	警固屋船渠(株)	〃	
	〃 小林 雄之	(株)新笠戸ドック	〃	
	〃 中村 喜臣	(株)中村造船鉄工所	〃	
	〃 菊地 潔	四国ドック(株)	〃	
	〃 真砂 徹	興亜産業(株)	〃	(新任)
	〃 佐文日出夫	(株)讃岐造船鉄工所	〃	
	〃 神例 哲也	神例造船(株)	〃	
	〃 浅野富士人	浅川造船(株)	〃	
	〃 浅海 慶喜	山中造船(株)	〃	
	〃 山岡 哲也	村上秀造船(株)	代表取締役会長	
	〃 檜垣 幸人	しまなみ造船(株)	代表取締役社長	
	〃 木元 陽一	伯方造船(株)	〃	
	〃 成瀬 鹿造	(株)栗之浦ドック	〃	
	〃 檜垣 英史	今井造船(株)	〃	
	〃 越智 勝彦	旭洋造船(株)	〃	
	〃 福嶋 祥人	(株)臼杵造船所	〃	
	〃 吉田 泰	南日本造船(株)	〃	

〃	田中 章夫	下ノ江造船 (株)	〃
〃	岩本 光生	佐伯重工業 (株)	〃
〃	長友 愛洋	本田重工業 (株)	〃
〃	三輪 善雄	学識経験者	
〃	梶谷 尚	〃	
〃	兒井 正義	〃	
〃	津村 英輔	(社) 北海道小型船舶工業会	会長
〃	木戸浦雄三	(社) 東北小型船舶工業会	〃
〃	中谷 敏義	(社) 中国小型船舶工業会	〃
〃	井村 勝	(社) 四国小型船舶工業会	〃
監事	安藤 豊久	ヤンマー (株) 顧問	(新任)
〃	渡部 潔	コンシリアム・ニクタンマリナー (株) 代表取締役社長	(新任)
〃	小西 紀次	富永物産 (株)	〃 (新任)

年度中の役員の変動は次の通りである。

理事	川崎 周次	檜崎造船 (株)	代表取締役社長	平成20年10月29日就任
理事	諸岡 正	檜崎造船 (株)	代表取締役社長	平成20年10月29日辞任
理事	増田 好治	(株) 新笠戸ドック	代表取締役社長	平成20年10月29日就任
理事	小林 雄之	(株) 新笠戸ドック	代表取締役社長	平成20年10月29日辞任
常務理事	石丸 周象	学識経験者		平成20年10月29日就任
理事	村上 啓二	村上秀造船 (株)	代表取締役社長	平成21年3月30日就任
理事	山岡 哲也	村上秀造船 (株)	代表取締役会長	平成21年3月30日辞任

年度末の役員は次の通りである。

会長	石渡 博	墨田川造船 (株)	代表取締役社長
副会長	寺西 勇	(株) 三和ドック	〃
〃	檜垣 巧	岩城造船 (株)	〃
〃	神田 健二	(株) 神田造船所	〃
〃	檜垣 清隆	檜垣造船 (株)	〃
〃	田中 敬二	福岡造船 (株)	〃

	三浦 政信	(社)九州小型船舶工業会 会長
専務理事	萩原 廣治	学識経験者
常務理事	松尾 龍介	〃
常務理事	石丸 周象	〃
理事	川崎 周次	函館どつく(株)室蘭製作所 取締役
〃	河原 勝治	根室造船(株) 代表取締役社長
〃	東 徹	北日本造船(株) 〃
〃	前田英比古	(株)ヤマニシ 〃
〃	野島豊一郎	東北ドック鉄工(株) 〃
〃	田中 哲雄	新潟造船(株) 〃
〃	加藤新太郎	(株)IHI造船化工機 〃
〃	吉田 春樹	(株)花崎造船所 〃
〃	片上 久志	(株)カナサン重工 〃
〃	内田陽一郎	鳥羽ドック(株) 〃
〃	生駒 友彦	金川造船(株) 代表取締役会長
〃	玉井 裕	神戸船渠工業(株)代表取締役社長
〃	山上 和政	(株)アイ・エフ・アイ・アムテック 〃
〃	杉原 毅	向島ドック(株) 〃
〃	佐々木大平	佐々木造船(株) 〃
〃	寺本 利徳	警固屋船渠(株) 〃
〃	増田 好治	(株)新笠戸ドック 〃
〃	中村 喜臣	(株)中村造船鉄工所 〃
〃	菊地 潔	四国ドック(株) 〃
〃	真砂 徹	興亜産業(株) 〃
〃	佐文日出夫	(株)讃岐造船鉄工所 〃
〃	神例 哲也	神例造船(株) 〃
〃	浅野富士人	浅川造船(株) 〃
〃	浅海 慶喜	山中造船(株) 〃
〃	村上 啓二	村上秀造船(株) 〃
〃	檜垣 幸人	しまなみ造船(株) 〃
〃	木元 陽一	伯方造船(株) 〃
〃	成瀬 鹿造	(株)栗之浦ドック 〃
〃	檜垣 英史	今井造船(株) 〃
〃	越智 勝彦	旭洋造船(株) 〃
〃	福嶋 祥人	(株)臼杵造船所 〃

〃	吉田 泰	南日本造船 (株)	〃
〃	田中 章夫	下ノ江造船 (株)	〃
〃	岩本 光生	佐伯重工業 (株)	〃
〃	長友 愛洋	本田重工業 (株)	〃
〃	三輪 善雄	学識経験者	
〃	梶谷 尚	〃	
〃	兒井 正義	〃	
〃	津村 英輔	(社) 北海道小型船舶工業会	会長
〃	木戸浦雄三	(社) 東北小型船舶工業会	〃
〃	中谷 敏義	(社) 中国小型船舶工業会	〃
〃	井村 勝	(社) 四国小型船舶工業会	〃
監事	安藤 豊久	ヤンマー (株)	顧問
〃	渡部 潔	コンソリアム・ニッタンマリーソ (株)	代表取締役社長
〃	小西 紀次	富永物産 (株)	〃

3. 事務局

事務を処理するため事務局及び造船技能開発センターを置き、専務理事及び常務理事(2名)が常勤している。

事務局には事務局長を置き、総務・業務・技術の3部を設け、総務部、技術部には専任の部長を置き、業務部長は事務局長が兼務している。

また、造船技能開発センターにはセンター長を置き、総務企画・教育研修の2部を設け、総務企画部長はセンター長が兼務し、教育研修部長には専任の部長を置いている。

4. 総会

総会を次の通り開催した。

第49回通常総会

年月日 平成20年5月16日(金)

場 所 全日通霞が関ビル 8階会議室

議案審議

第1号議案 平成19年度事業報告書及び決算報告書の件(承認)

第2号議案 平成20年度事業計画及び収支予算の件(承認)

第3号議案 特別会費の件(承認)

第4号議案 平成21年度日本財団助成金の交付申請手続きの理事会への委任の件
(承認)

第5号議案 役員任期満了に伴う改選の件(承認)

臨時総会

年月日 平成20年10月29日(水)

場 所 当会事務局会議室

議案審議

第1号議案 理事選任の件(承認)

5. 理事会

理事会を次の通り開催した。

第499回理事会

年月日 平成20年5月16日(金)

場 所 全日通霞が関ビル 8階会議室

審議事項

- (1) 平成19年度事業報告書及び決算報告書について(承認)
- (2) 入会申込について(承認)
- (3) 会長、副会長、専務理事、常務理事の互選について(承認)
- (4) 役員の退職慰労金について(承認)

報告事項

- (1) 独立行政法人通則法改正案についての説明

第500回理事会

年月日 平成20年10月29日(水)

場 所 当会事務局会議室

審議事項

- (1) 平成21年度日本財団助成事業申請について(承認)
- (2) 賛助会員入会申し込みについて(承認)
- (3) 代表者交代に伴う理事の変更について(承認)
- (4) 専門委員会委員について(承認)
- (5) 労働災害防止対策改善計画について(承認)
- (6) 常務理事の互選について(承認)

報告事項

- (1) 平成21年度税制改正要望について
- (2) 平成21年度賀詞交歓会実施について

第501回理事会

年月日 平成21年3月30日(月)

場 所 当会事務局会議室

審議事項：

- (1) 平成20年度収支予算変更(案)について(承認)
- (2) 平成21年度事業計画(案)について(承認)
- (3) 平成21年度収支予算(案)について(承認)
- (4) 代表者交代に伴う理事の変更について(承認)
- (5) 入会申し込みについて

報告事項

- (1) 鉄道・運輸機構平成21年度納付金率について
- (2) 労働災害について
- (3) 「我が国造船・舶用工業の今後の針路」に係る研究会について
- (4) 平成21年度通常総会開催日について
- (5) バラスト水管理条約及びバラスト水処理システム搭載適用時期について

小型船部会を次の通り開催した。

第8回小型船部会

年月日 平成20年10月29日(水)

場 所 当会事務局会議室

議 案

- (1) 鉄道・運輸機構との共有船建造契約内容について
- (2) 物価変動に対する船価スライド制について

6. 事 業

〔日本財団助成事業〕

(1) 進水式の一般公開等

全国各地の造船所で進水式及び工場見学会を25回開催し、小学生1,957名(引率の教師、父兄を含む。)を招待した。なお、プレスリリース等で行事を知った地域住民の参加も含めると参加者は約5,000人に達した。

また、工業高校造船科で使用している教科書「造船工学」の改訂版を作成した。

(2) 船舶用低VOC塗料の実用化に関する技術開発

低VOC防食塗料の長期耐久性について、30カ月の促進劣化試験を行い、現用塗料よりも耐久性が明らかに優れているものが見出された。

また、低VOC防汚塗料の開発については、現行の塗装機でも使用可能で低廉な塗料を開発し、その製品化に十分耐えられることが確認された。

(3) インベントリリスト作成システムの開発

前年度に作成したインベントリ作成マニュアルを用いてインベントリ作成試行実験を行い、5社からインベントリの提出があった。また、造船所のインベントリ作成を支援するために電線と溶融亜鉛メッキ成分分析データ集を作成した。

(4) 艀装工程における生産性向上のための調査研究

(社)日本船舶電装協会、(社)日本造船事業者団体連合会と協働で、電装、塗装、溶接、通風路工事を行っている事業者を訪問し、手待ち、手戻り作業の実態について調査した。また、動力主燃料をC重油からA重油に変更した場合に省略可能な機関システム構成要素を抽出し、機関室内の艀装工数削減、機器省略により生じた空きスペース利用等について検討した。

(5) 日本・アジア造船フォーラムの開催

①日本・ベトナム造船フォーラムを下記のとおり開催した。

開催日：2008年11月17日(月)

場 所：日航ハノイホテル会議室

議 題：日本の造船業・船用工業の現状について

日本の国際協力の現状について

ベトナムの造船業・船用工業の現状について

トレーニングプログラムにおける日本との協力体制について

その他

②日本・インドネシア造船フォーラムを下記のとおり開催した。

開催日：2008年11月20日(木)

場 所：ジャカルタ・インターコンチネンタルホテル会議室

議 題：日本の造船業・船用工業の現状について

日本の国際協力の現状について

インドネシアの造船業・船用工業の現状について

インドネシア造船業の発展を支援するKrakatau Steel社の役割について

その他

(6) 海外展示会への参加

ドイツ・ハンブルグ市で開催された「SMMハンブルグ2008」に出展し、プロモーションビデオ及び当会会員造船所が建造した船舶のパネル写真等を用いて、我が国中小型造船業界の優秀性を欧州地域の船社並びに海事関係者に広くPRし、欧州市場における中小型船舶の需要喚起を図った。

56ヶ国から1,965社が出展し、来場者は約52,000名に達した。

《当会参加概要》

展示面積：14m²

展示物：建造船舶動画（プロモーションビデオ）、建造船舶パネル等

配布物：英文カタログ「Modern Ships in Japan 2008」「CAJS PROFILE」

(7) 自走式溶接ビード切削装置の技術開発

軽量化・切削能力向上のため首振り機能を追加し、補助レール・モノレール方式による4輪駆動自走式の試作機を完成させた。

(8) 造船塗装ロボットの技術開発

ミスト吸引装置及びセンサー付塗装装置、風防、コントローラー、制御盤を高所作業車バスケット部に取り付けた試作機を組立、平面塗装の実験を行った。

[海外協力事業]

(1) 造船関連海外情報収集及び海外業務協力

ジェットロ船舶関係海外事務所を活用して、海事情報の収集を行うとともに、入手した情報を我が国海事関係者等に広く発信した。

また、諸外国との技術交流及び人的交流に係る各種事業展開の拠点に位置づけ、国際交流及び国際協調の推進を図った。

①海事情報の収集・発信

ニューズレター等の刊行、国際会議・展示会等の企画及び参加

②造船、船用工業関連調査の実施

造船・海運政策、技術開発動向、産業協力、市場環境、国際情勢等に関する報告書の刊行

[請負事業]

(1) 溶接職外国人研修・技能実習の実態に関する調査

独立行政法人海上技術安全研究所からの請負事業で、受入の実態、技能実習生が従事する溶接作業、技能実習期間3年及び5年で到達できる技量等について、アンケート及びヒアリング調査を行い、報告書にまとめた。

[一般事業]

(1) 委員会部会の開催

総務委員会、業務委員会、国際委員会、修繕船委員会、技術委員会、労務委員会、政策委

員会を開催し、当工業会の運営及び各種事業の推進について審議検討した。

(2) 資金の斡旋

会員造船所が日本財団の融資制度を利用するに当たり、借入計画書の作成等について面談等による指導を実施するとともに、団体加入証明書を発給した。

(3) 経営基盤強化関係事業

- ① 会員会社の経営の参考に供するとともに、当会の政策立案の基礎資料とするために会員会社の経営分析を行い、会員に配布した。
- ② 現行の税制の活用及び見直し、新たな税制の創設等について調査した。
- ③ (財)日本海事協会との懇談会を高松市で開催し、検査の方法等について意見交換を行った。
- ④ 鉄道建設・運輸施設整備支援機構と内航船建造に関する情報及び意見交換を行うとともに、内航海運業界関係者を招き、今後の暫定措置事業のあり方について講演いただいた。
- ⑤ 日本船用工業会との懇談会を沖縄市で開催し、情報及び意見交換を行った。
- ⑥ 会員の手持工事量、輸出船引合受注状況、新造船建造状況を調査した。

(4) 次世代人材育成関係事業

- ① 6カ所の地域技能研修センターに新人研修及び専門技能研修に必要な機材を整備するとともに、運営を支援した。また、指導者育成研修を3回開催した。
- ② 政府に設置された「海事産業の次世代人材育成推進会議」に参画し、次世代を担う若者の確保について検討した。
- ③ 中小造船業の雇用確保のため、21年3月に広島で開催された就職相談会に参加した。
- ④ 造船に関する基礎的知識を働きながら習得できる登録講習を開設し、通信による添削指導と面接指導を行った。
- ⑤ 日本造船工業会と共同で第8回造船技術者社会人教育を実施した。
- ⑥ 工業高校造船科の集まりである全国造船教育研究会の総会において若年労働力の確保について意見交換を行った。

(5) 国際協調・協力推進関係事業

- ① 欧州にミッションを派遣し、SMMハンブルグ2008展示会の見学、オランダの、Scheldeport BV造船所の視察を行った。
- ② 国際協力プロジェクトチームにおいて海外事務所等を活用しつつ経済協力船等の案件形成を図った。
- ③ 国際協力の一環としてフィリピン（セブ）で開催された造船セミナーに参加するとと

もに、ツネイシセブヤードを視察した。

- ④ベトナムとインドネシアで開催した日本・アジア造船フォーラムにミッションを派遣し、国際協調の推進を図った。

(6) 技術革新への対応関係事業

- ①ポストパナマックスバルカーの新船型開発について研究した。
- ②バラスト水処理装置の実船装備について、設計、工作及び規則上の問題点を抽出した。
- ③塗装品質向上のための品質管理プロセス、廃塗料対策、塗装環境等に関する情報交換を行った。

(7) 環境対策関係事業

- ①地球温暖化対策ボランティアプランを推進するため、会員造船所における電力及び化石燃料使用量、産業廃棄物の処理状況等について調査した。
- ②環境会計簡易計算ツールを用いて試行実験を行うとともに、造船所が公表する環境報告書の雛形を作成した。
- ③シップリサイクル(条約関連ガイドライン、有害物質の位置表示、リサイクルヤード等)に関する検討に参画した。
- ④P R T R届出書作成を代行した。

(8) 労務及び労働安全対策事業

- ①会員造船所における雇用の維持・確保を図るため、雇用条件について調査し、それらの情報を会員造船所に提供した。
- ②会員造船所の安全管理水準のなお一層の向上を図るため、労働災害防止対策改善計画を策定し、その推進を図った。また、安全成績について調査し、集計結果を全社に報告するとともに、類似災害の再発防止を図るため休業災害調査報告書を作成し、会員造船所に周知した。
- ③造船業における労働災害防止対策の推進と労働災害保険収支の改善に取り組む全国造船安全衛生対策推進本部の構成員として、(社)日本造船工業会、(社)日本造船協力事業者団体連合会と共同で全国的な規模で労働災害防止活動を展開した。

(9) 団体P L保険

製造物責任法対策の一環として実施している団体P L保険への加入募集、損害保険会社との保険契約締結等を行った。

(10) 広報活動

- ①関係官庁の法令、通達、施策等を紹介するとともに、当会及び関係業界の動向、中小型造船業に関する統計資料等を収録した会報（No.376～No.379）を発行した。
- ②団体概要パンフレット「プロフィール」を発行し、国内外の海事関係者に配布した。
- ③インターネット上に開設したホームページのリニューアルに併せて英語ページを製作し、会員概要及び当会の活動状況等を広く一般に公表した。

（11）他団体への協力

造船関係団体の役員または委員会の委員に当会の役職員を派遣し、各団体の運営及び事業の実施に協力した。

（12）会員相互の親睦

- ①第49回通常総会終了後、懇親会を開催した。
- ②新年賀詞交歓会を開催した。
- ③国内各地で開催した委員会等に合わせて懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めた。

（13）叙勲者、表彰者の推薦

国や政府、関係団体の行う叙勲及び表彰候補者の推薦を行うとともに、必要な各種書類の作成に協力した。

7. 陳情

- （1）平成20年9月、自由民主党に対し、平成21年度税制改正要望書を提出した。
- （2）平成20年10月に開催された海事振興連盟総会の席上、人材確保育成対策等中小造船業対策について要望した。
- （3）平成20年10月に開催された自由民主党運輸交通団体協議会において、業界の現状を説明するとともに、平成21年度税制改正等中小造船業対策について要望した。

定款第38条第1項の規定に基づいて上記報告書を提出します。

平成21年3月31日

社団法人 日本中小型造船工業会
会長 石渡 博

平成20年度の事業報告書について監査したところ、適正であることを認めます。

平成21年5月20日

監事 安藤 豊久

監事 渡部 潔

監事 小西 紀次